

## 第2次隠岐の島町総合振興計画策定に係る 意見交換会

【日 時】：令和元年7月5日（金） 19時00分～20時30分

【会 場】：ふれあいセンター2階 第1会議室

【出席者】

●隠岐の島町まちづくり運動協議会の皆様

●隠岐の島町役場

総合振興計画策定委員：吉田主事 宇野主事

地域振興課：佐々木課長 黒川係長

隠岐の島町まちづくり運動協議会5名の皆様にご参加いただき、「まちづくり活動の現状」や「今後のまちづくり活動のあり方」等について、意見交換を行いました。

会の中では、ふるさと教育の充実や魅力あるまちにするにはどうすべきかなど、たくさんのご意見を頂きました。

### ①まちづくり活動の現状について

<環境生活部会>

・環境生活部会では、最初は「花いっぱい運動」で始まったが、現在、5～6地区で実施しているがマンネリ化しているの見直しが必要に思える。

・不法投棄や海岸漂着物には目が向けられているが、もう少し町内のポイ捨ての啓発が必要

・ウルトラマラソン開催前になると沿道がきれいになるが・・・

・地区によっては、月に1回自発的に美化活動が行われているところがある。

・自治会単位では環境整備活動を行っているが、まちづくり協議会として町全体の活動は行われていない。

・いろいろな啓発活動を行うが部会だけの活動になる傾向にあり、その活動をどうやって町中に広めていくかが大きな課題。

・町内にゴミボックスが少ない。

・まちづくり協議会の運用が事務局（公民館）にお任せ状態にあるので、部員が自主的に活動するようになればもっと良くなると思うが・・・

<ひとづくり部会>

・アドベンチャー教室については、もともと自転車で自然体験ではなく、キャンプが主体であった。青少年交流として岡山から子供たちが来島される。

### ② 目指すべき“まち”の姿について

・町民の環境への意識向上

・効果的な環境保全活動の実施

- ・集会所単位でのまちづくり
- ・子ども達が生まれ育ったふるさとに対し愛着もち、島を出ても帰ってきたくなるような「ふるさと教育」の充実など
- ・親子が参加できる機会づくり
- ・隠岐の島町の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり
- ・観光客の受入体制づくり  
(宿、レンタカー等、季節変動への対応)



隠岐の島町まちづくり運動協議会の皆様からいただきましたご意見・ご提言は、今後の計画の策定内容の参考にします。